

毛呂山中だより

第 2 号

令和5年4月24日

学校教育目標「夢をもち世界にはばたく毛呂山のこども
自ら学び 共感し 行動できる生徒」

〒350-0465 入間郡毛呂山町岩井西4-12-1 TEL049-294-0019



＜夢を語ることの大切さ＞

校長 上原 英樹

4月3日に毛呂山中学校に赴任し、間もなく1ヶ月になろうとしています。始業式・入学式、保護者会・学級懇談会、避難訓練、1年学力検査、全学年入間地区数学テスト、3年全国学力量習状況調査、2年校外学習、1年部活動本入部など、行事が目白押しで、正に怒濤の1ヶ月でした。そんな状況でも本校の教職員ならびに生徒は毎日活気ある学校生活を送っており、とても頼もしく感じています。もう少しでゴールデンウィークを迎えます。4月の疲れを癒やし、リフレッシュして更に充実した学校生活を送ってくれることを期待します。

さて、私は4月18日に2学年の校外学習（史跡巡り）に参加しました。学校から里山内ハイキングコースを通過して桂木観音を巡り、ゆずの散歩道を通して学校まで戻る約8Kmのコースを徒歩で巡りました。当日は天候にも恵まれ、桂木観音展望台からの美しい景色を見て、とても清々しい気分になりました。生徒も班ごとに協力しながらコースを巡り、リタイアする生徒もなく参加者全員が無事ゴールすることができました。その道中、私は一人の女子生徒から「私は小説家になるのが夢で、今も自分で小説を書いています。校長先生今度読んでください」と話かけられました。近頃は自分から夢の話をしてくれる生徒も少ないので、とてもうれしくなったと同時にある教え子のことを思い出しました。私が担任した、その教え子も中学1年生の作文で「将来の夢は小説家になることです」と書き、中1にしては目標がとてもしっかりしていて、強い意志を感じたのでとても印象に残っていました。それから10年近くが経った昨年、彼が書き下ろした小説が芥川賞候補に選ばれていたのを知り、大変驚きました。残念ながら芥川賞には選ばれませんでした。夢をしっかりと実現させ、活躍している姿に感動すると共に頭が下がる思いでした。夢を実現させる秘訣として自ら夢を語れることが、とても重要なだと痛感した出来事でもありました。毛呂山中学校の生徒のみなさん、夢を持っているのなら恥ずかしくがらず、身近な人に語ってみましょう。そうすることで自らを鼓舞し、努力を重ねるモチベーションにつなげてみてください。あなたの夢を知った身近な人は、あなたが努力を重ねる姿を見て、良き理解者となり応援者にもなってくれると思います。今後、毛呂山中学校のいたるところで夢を語ってくれる生徒が増えることを期待します。また、教職員・保護者・生徒が個々の夢を尊重し、応援できる良い雰囲気を持った学校に更になれるよう、共に築き上げて行きましょう。